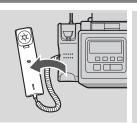
電話をかける

親機で電話をかける

親機で電話をかけるときの操作です。

操作のしかた

1 受話器を取る

2 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

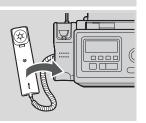
0312345678

●まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
●押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせすることができます。(読上げボイスダイヤル機能 ☞90ページ)

3 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0:30

4 通話が終わったら **受話器を戻す**

■ **受話器を取らずに電話をかけるときは**

オンフック を押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。通話するときは受話器を取ってお話しください。

■ **途中でやめるときは**
受話器を戻します。

■ **電話をかけられないときは（☞133ページ）**

■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信(☞153ページ) を「ナシ」にします。

■ **通話中にファクスを受信するときは**
親機で通話中のときは 決定/FAXスタート 、子機で通話中のときは 機能 を押します。

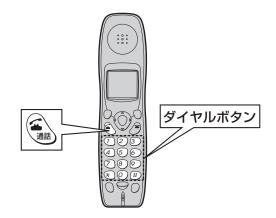
■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**
「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。(☞32ページ)
(読上げボイスダイヤル機能の音量は、親機のスピーカー音量と連動しています。スピーカー音量を変えずに読上げボイスダイヤル機能の音量だけを変えることはできません。)

■ **読上げボイスダイヤル機能を設定／解除するときは（☞90ページ）**

お知らせ

● 表示される通話時間は59分59秒までです。この時間を超えると0秒から新しくカウントされます。
● 電話をかけた相手の方がナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリで、ナンバー・ディスプレイなどのサービスをご利用のときは、ご自分の電話番号が相手の方に通知（表示）されます。通知する／しないは、現在お選びの番号通知方法によって異なります。
● 読上げボイスダイヤルの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。

子機で電話をかける

子機で電話をかけるときの操作です。

操作のしかた

1 充電器から取って
 を押す

●通話ボタンが点灯します。

2 「ツー」という音が
聞こえたら
ダイヤルする

0312345678

●まちがい電話を防ぐために、ダイヤルするときは、「ツー」音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0:30

4 通話が終わったら
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

●通話時間の表示は、約５秒後に消えます。

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは
(☞142ページ)**

■ **子機を取らずに電話をかけるときは**
オンフック 発信 を押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。通話するときは子機を取ってお話しください。

お知らせ

● ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
● 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。
● 子機で電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

電話を受ける

親機で電話を受ける

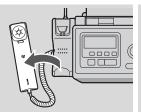
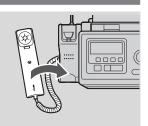
親機で電話を受けるときの操作です。

操作のしかた

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

2 **相手の方とお話しする**

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

```
  0:30
チャクシン ツウワ
```

3 通話が終わったら
受話器を戻す

■ **呼出音の大きさを変えるときは**
(親機の呼出音量を変える ☞30ページ)

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「ナシ」にします。(☞153ページ)

■ **通話中にファクスを受信するときは**
(☞37ページ)

お知らせ

● ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。(☞108ページ)
● 表示される通話時間は59分59秒までです。この時間を超えると0秒から新しくカウントされます。

子機で電話を受ける

子機で電話を受けるときの操作です。
電話がかかってくると、最初に親機の呼出音が鳴って、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。

操作のしかた

1 呼出音が鳴ったら
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「ＯＦＦ」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

2 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0:30

3 通話が終わったら
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

●通話時間の表示は、約５秒後に消えます。

■ **呼出音が鳴っているときに音を「切」にするときは**

呼出音が鳴っているときに （切） を押すと、音が「切」になります。（親機は鳴り続けます。）

次に電話がかかってきたときは、もとの設定している呼出音が鳴ります。

■ **呼出音の大きさを変えるときは（子機の呼出音量を変える　☞31ページ）**

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「ナシ」にします。（☞153ページ）

お知らせ

● 子機を充電器から取るだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。（クイック通話を設定する　☞93ページ）
● 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。
● ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（☞108ページ）
● 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話を受けることはできません。また、呼出音も鳴りません。

子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）

優先呼出を設定する

優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、
設定された子機だけに呼出音が鳴ります。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 **を押し、**
で
「ユウセンヨビダシ」を選ぶ

ﾕｳｾﾝﾖﾋﾞﾀﾞｼ

2 機能 **を押す**

ｾｯﾃｲｼﾏｼﾀ
優先呼出

● 「ピー」と鳴り、ディスプレイに 優先呼出 と表示されて、優先呼出が設定されます。

■ 途中でやめるときは

を押します。

■ 優先呼出を解除するときは

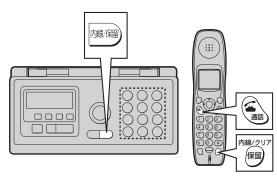
ディスプレイに 優先呼出 が表示されているときに、手順1～2の操作をします。
「ピピッ」と鳴り、ディスプレイの 優先呼出 が、消えます。

優先呼出の表示が
消えます

お知らせ

- 設定後、９時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
- 優先呼出を設定できる子機は、１台のみです。すでに他の子機を優先呼出に設定しているときは、「ピピピピ」とアラームが鳴り、優先呼出を設定することはできません。
- 優先呼出を設定したあとで、子機の充電池を交換すると、優先呼出 の表示は消えますが優先呼出は設定されたままになります。優先呼出 を表示させるときは、解除してもう一度設定し直してください。
- 優先呼出を設定しているときは、親機や他の子機で電話を受けることはできません。
- 優先呼出を設定していても、留守設定時は留守機能が働き、親機で自動応答します。
- 親機でコピー中、プリント中のときは、優先呼出を設定していても、子機で電話を受けることはできません。また、呼出音も鳴りません。コピー・プリント終了後は、子機で受けることができます。

通話中にお待たせする（保留）

通話中、相手の方をお待たせするときに、メロディを流します。
（曲名：「ビューティフル・ドリーマー」）

親機で通話中にお待たせする

操作のしかた

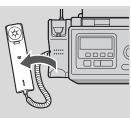
1 通話中に

内線/保留 **を押して、受話器を戻す**

ホリュウ中

●保留メロディが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

2 再び通話するときは

受話器を取る

●保留メロディが止まり、お話しできるようになります。
●受話器を戻さなかったときは、もう一度、内線／保留ボタンを押すと、再び通話できます。

子機で通話中にお待たせする

操作のしかた

1 通話中に

 を押す

●保留メロディが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。
●通話ボタンが点滅します。

2 再び通話するときは

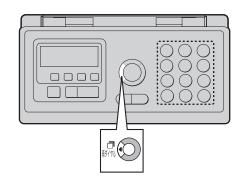
 または 内線/クリア 保留 **を押す**

●保留メロディが止まり、お話しできるようになります。
●通話ボタンが点灯します。

■ **保留中に他の電話機で電話に出るときは**
（ひとり転送　☞48ページ）

電話をかけ直す（再ダイヤル）

親機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
親機では、最後にかけた電話番号が１件記憶されています。

操作のしかた

1 受話器を取る

2 ツーという音が聞こえたら 再ダイヤル **を押す**

0312345678

●親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
●まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押してください。
●最後にかけた相手の方に電話をかけます。

3 通話が終わったら **受話器を戻す**

■ **途中でやめるときは**
受話器を戻します。

■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは**
受話器を置いたまま操作します。

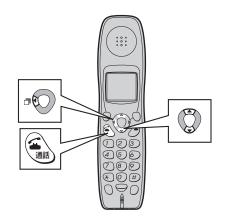
① 再ダイヤル を押す
② キャッチ/消去 を押す
③「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去されます。

お知らせ

● 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
● 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
● 再ダイヤルで電話をかけ直すときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

電話をかけ直す（再ダイヤル）

子機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
子機では、最大３件記憶されています。

操作のしかた

1 子機を充電器から取って
 を押す

0312345678

●最後にかけた相手の方が表示されます。

2 **で選び、**
 を押す

09087654321

●子機で再ダイヤルできる番号は最大24ケタまでです。

3 **相手の方とお話しする**

4 通話が終わったら
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

■ **子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは**

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① （機能）を押し、（▲▼）で「サイダイヤルクリア」を選ぶ
② （機能）を押す
③ もう一度、（機能）を押す（「ピー」と鳴ったあと、すべての再ダイヤルの記憶を消去します。）

■ **子機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは**

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

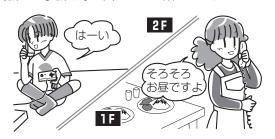
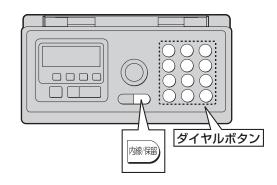
① （再ダイヤル）を押す
② （▲▼）で登録する番号を選ぶ
③ （機能）を押し、名前を入力する
④ （機能）を押す

お知らせ

● 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
● 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
● 子機の再ダイヤルの記録を、１件ずつ消去することはできません。
● 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。
● 親機では、再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することはできません。

親機と子機の間でお話しする（内線通話）

親機から子機を呼び出してお話しする

親機から子機を呼び出して、お話しします。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 親機

受話器を取って 内線/保留 を押し、子機の内線番号を押す

（例）子機１のとき ①

●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。

2 子機

呼出音が鳴ったら

充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

3 親機 子機

お話しする

4 通話が終わったら

親機

受話器を戻す

子機

充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら**

親機のスピーカーや子機の受話口からそれぞれに呼出音が聞こえます。

親機で話すには

① 受話器を戻す（内線通話が切れます。）

② 受話器を取る（外の相手の方と通話できます。）

子機で話すには

① 切 を押す（内線通話が切れます。）

② 子機の呼出音が鳴り始めたら、通話 を押す（外の相手の方と通話できます。）

お知らせ

● 内線通話では、保留はできません。

● 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。

● 内線通話のときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

● 内線通話の呼出音の種類を変えることはできません。

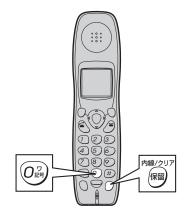
● 子機の呼出音量を「切」に設定していても、内線通話の呼出音は「小」の大きさで鳴ります。

親機と子機の間でお話しする（内線通話）

子機から親機を呼び出してお話しする

子機から親機を呼び出してお話しします。

操作のしかた

1 子機

子機を充電器から取って
内線/クリア 保留 **を押し、**
「ナイセン：」と表示されたら親機の内線番号（0 ワ 記号）を押す
●通話ボタンが点滅します。

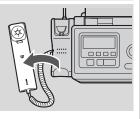
2 親機

呼出音が鳴ったら
受話器を取る

3 親機 子機

お話しする

4 通話が終わったら

親機
受話器を戻す
子機
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

お知らせ

- 子機のスピーカーでの内線通話はできません。
- 内線通話の呼出音の種類を変えることはできません。
- 親機の呼出音量を「切」に設定していても、内線通話の呼出音は最小の大きさで鳴ります。

電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

親機から子機へ電話をとりつぐ

親機で受けた電話を子機へとりつぐときの操作です。

操作のしかた

1 親機

通話中に
内線/保留 **を押し、**
子機の内線番号
を押す

（例）子機１のとき

●相手の方には、保留メロディが流れます。
●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
●複数の子機を使用している場合、続けて他の子機の内線番号を押して呼び出すことができます。（内線シフトコール）

2 子機

呼出音が鳴ったら
充電器から取る

●通話ボタンが点灯します。
●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

3 親機

電話をとりつぐこと
を伝えて
受話器を戻す

●受話器を置くと、子機で外の相手の方とお話しできます。

■ **呼び出しても子機が出ないときは**

次の（操作方法１）または（操作方法２）の操作をします。
（操作方法１）
① 内線/保留 を押す
（呼び出しをやめて、保留になります。）
②もう一度 内線/保留 を押す
（相手の方との通話に戻ります。）
（操作方法２）
①受話器を戻す
②再度、受話器を取る
（相手の方との通話に戻ります。）

子機から親機へ電話をとりつぐ

外の相手の方からかかってきた電話を子機から親機にとりつぐときの操作です。

操作のしかた

1 子機

通話中に
内線/クリア 保留 **を押し、**
親機の内線番号（0）を押す

●通話ボタンが点滅します。
●相手の方には、保留メロディが流れます。

2 親機

呼出音が鳴ったら
受話器を取る

●子機とお話しできます。

3 子機

電話をとりつぐ
ことを伝えて
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
●このあと、親機で外の相手の方とお話しできます。

■ **呼び出しても親機が出ないときは**

① 内線/クリア 保留 を押す
（呼び出しをやめて、保留になります。）
② もう一度 内線/クリア 保留 を押す
（相手の方との通話に戻ります。）

お知らせ

● とりつぎ転送するときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
● 子機の呼出音量を「切」に設定していても、内線通話の呼出音は「小」の大きさで鳴ります。
● 親機の呼出音量を「切」に設定していても、内線通話の呼出音は最小の大きさで鳴ります。

電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。
また、子機を増設されたときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

親機から子機へとりつぐ

操作のしかた

1 親機

親機で通話中に
を押し、
受話器を戻す

2 子機

充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます

子機から親機へとりつぐ

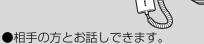
操作のしかた

1 子機

子機で通話中に
内線/クリア 保留 **を押し、**
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 親機

呼出音が鳴ったら
受話器を取る

●相手の方とお話しできます。

子機から他の子機へとりつぐ

操作のしかた

1 子機

子機で通話中に
内線/クリア 保留 **を押し、**
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 他の子機

充電器から取って
を押す

●充電器に置いていないときは、そのまま通話ボタンを押します。
●クイック通話を「ON」にしているときも通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）

UX-F14CWをお使いのとき、または子機を増設してお使いのときは、子機から子機へメッセージを伝えることができます。
（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）

操作のしかた

1

子機を充電器から取って 内線/クリア 保留 を押す

2 子 機

呼び出したい子機の内線番号を押す

- 通話ボタンが点滅します。
- 呼び出した子機が応答するまで「プププ・・・・」と鳴ります。

3

呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

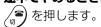
4 子 機

呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

- 呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子 機

メッセージが終わったら
切 **を押す**

- この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

■ **途中でやめるときは**
を押します。

子機から子機へ電話を転送する（ひと声転送）

UX-F14CWをお使いのとき、または子機を増設してお使いのときは、子機にかかってきた電話をひと声だけメッセージを伝えて他の子機へ転送することができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）

操作のしかた

1 子機

子機で外線通話中に

（内線/クリア 保留）を押す

2 子機

呼び出したい子機の内線番号を押す

- ●外線通話中の相手の方には保留メロディーが流れます。
- ●呼び出した子機が応答するまで「プププ・・・・」と鳴ります。
- ●通話ボタンが点滅します。

3 呼び出された子機

呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

- ●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- ●通話ボタンが点灯します。

4 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

- ●呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子機

メッセージを話し終わったら
子機を充電器に戻す

- ●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
- ●この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

7 呼び出された子機

（通話）を押す
または
（内線/クリア 保留）を押す

- ●外の相手の方と通話できます。

■ 呼び出している子機が出ないときは

（内線/クリア 保留）を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと（内線/クリア 保留）または（通話）を押すと外線の相手の方との通話に戻ります。

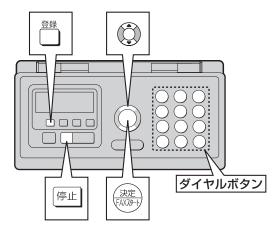
親機の電話帳に登録する

親機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 [登録] を押し、[◎] で「デンワチョウ」を選ぶ

```
<トウロク>
6:デ ンワチョウ
```

2 [決定/FAXスタート] を押し、「トウロク」を選ぶ

```
<デ ンワチョウ>
1:トウロク 2:テンソウ
```

3 [決定/FAXスタート] を押す

```
アイテメイ トウロク カ ナ
```

4 名前を入れる（最大20文字）

```
アイテメイ トウロク カ ナ
イケダ サトシ
```

●名前の入力を省略するときは、決定／FAXスタートボタンを押して手順６に進みます。
名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。

5 [決定/FAXスタート] を押す

```
バ ンゴ ウ トウロク
NO. =
```

6 電話番号を入れる(最大32ケタ)

```
バ ンゴ ウ トウロク
NO. =0312345678
```

●番号を入れまちがえたときは、キャッチ／消去ボタンを押すと、１つ前の番号が消えるので、もう一度入れ直します。
●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるときや着信鳴り分けをさせるときは、同じ市内でも必ず市外局番から登録してください。

7 [決定/FAXスタート] を押す

```
トウロク シマシタ
```

●続けて登録するときは、４～７の操作をくり返します。

8 [停止] を押す

■ **文字を入力するときは**
(☞54～55ページ)

■ **ナンバー・ディスプレイの名前表示とは**
(☞105ページ)

■ **ナンバー・ディスプレイの着信鳴り分けとは**
(☞118～119ページ)

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

を押します。（文字や電話番号入力時は、キャッチ/消去 を押すと戻ります。）

■ **登録した内容を確認するときは**

電話番号リストをプリントします。

（操作方法1）

① 登録 を押す

② で「インサツ」を選び 決定FAXスタート を押す

③「デンワチョウ　リスト」を選ぶ

④ 決定FAXスタート を押す

（操作方法2）

① 電話帳 を押す

② コピー/印刷 を押す

■ **親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは（☞62ページ）**

■ **ポーズについて**

再ダイヤル （再ダイヤル）ボタンを押すと、約3秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。続けて入力することもできます。

ポーズを入力するのは、構内交換機から0発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。また、子機に電話帳を転送したとき、子機でナンバー・ディスプレイを利用していても番号が表示されません。
ディスプレイにはー（ハイフン）で表示されます。

お知らせ

● 親機の電話帳には、あらかじめ次の3件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫ジホウ	117
≫テンキヨホウ	177
≫デンワアンナイ	104

● まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。また、登録後は電話番号リストをプリントして、確かめてください。

● 着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます。（☞117ページ）

● ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞105ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞118ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。

● 市外局番の前に「184」、「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞105ページ）や着信鳴り分け（☞118〜119ページ）が働かなくなります。

● 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号が名前として登録されます。

● 親機の電話帳の内容をプリントしているときは、子機で電話をかけたり、受けたりすることはできません。

親機の電話帳を修正する

登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。

操作のしかた

1 を押す

2 で修正する相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ
0312345678

3 を押す

アイテメイ トウロク　カ ナ
イケダ　サトシ

4 名前を入れ直す

アイテメイ トウロク　カ ナ
イケダ　マサル

●名前を修正しないときは手順5に進んでください。

5 を押す

バ ンゴ ウ トウロク
NO. =0312345678

6 電話番号を入れ直す

バ ンゴ ウ トウロク
NO. =09087654321

●キャッチ／消去ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
●電話番号を修正しないときは手順7に進んでください。

7 を押す

トウロク シマシタ

■ **文字を入力するときは（☞54～55ページ）**

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **一つ前に戻るときは**

を押します。（文字や電話番号入力時は、キャッチ/消去 を押すと戻ります。）

親機の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を１件ずつ消去することができます。

操作のしかた

1 を押す

2 で消去する相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ
0312345678

3 キャッチ/消去 を押す

4 もう一度、キャッチ/消去 を押す

5 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **親機の電話帳をすべて消去するときは**
（☞151ページ）

親機で文字を入力する

電話帳に名前を登録するときなど、文字を入力する場合は、ダイヤルボタンを使って入力します。
(☞51ページなど)
親機では画質／カナボタンで文字の種類を替えてダイヤルボタンで入力します。

文字入力一覧表

入力モード／入力ボタン	カタカナ [カナ]	英　字 [ABC]	数字 [123]
1 ア	アイウエオ ァィゥェォ	@ . －＿	1
2 カ	カキクケコ	ABC	2
3 サ	サシスセソ	DEF	3
4 タ	タチツテト ッ	GHI	4
5 ナ	ナニヌネノ	JKL	5
6 ハ	ハヒフヘホ	MNO	6
7 マ	マミムメモ	PQRS	7
8 ヤ	ヤユヨ ャュョ	TUV	8
9 ラ	ラリルレロ	WXYZ	9
0 ワ 再生▶	ワヲン－ □(スペース)	, : ! ? & / ( ) [ ] □(スペース)	0
トーン * ⏮ ゛゜	濁点/半濁点	無効	*
# ⏭	無効		#
(カーソルボタン)	カーソル左右移動		
画質/カナ	入力モード変換		
キャッチ/消去	カーソル上の１文字を消去		

● 英字の小文字は入力できません。

文字を入力する

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。
ディスプレイは電話帳に登録する（☞51ページ）ときのものです。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 画質/カナ で文字の種類を選ぶ

アイテメイ トウロク　カ ナ
▯

- はじめ、電話帳に登録するときは、カナ入力モードになっています。
- 文字の種類を選ぶときは、画質/カナ を押して切り替えます。

アイテメイ トウロク　[カ ナ]
▯

→［カナ］カタカナを表示します。
↓
［ABC］英字を表示します。
↓
［123］数字を表示します。

2 ①ア を2回押す

アイテメイ トウロク　カ ナ
イ

- くり返して押すと
  ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
  の順に切り替わります。

3 ②カ を4回押す

アイテメイ トウロク　カ ナ
イケ

- 同じボタンを使って入力する文字（例：「ア」と「エ」、「ワ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは、1文字目を入力したあと、(▶) を押して、カーソルを移動してから2文字目を入力します。

4 ④タ を1回押す

アイテメイ トウロク　カ ナ
イケタ

5 トーン ＊ を押す

アイテメイ トウロク　カ ナ
イケダ▯

- 濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは、文字を入れたあとに、トーン ＊ を押します。
- スペースを入れるときは、(▶) を押してカーソルを移動させてから、続きの文字を入力します。移動させた文字数の分だけスペースが入ります。

6 決定 FAXスタート を押す

- 文字入力が終了します。

文字を修正する

■ 文字を消すには

キャッチ/消去 を押すと、カーソルの1つ前が消えます。（カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます。）

アイテメイ トウロク　カ ナ
イケダ タ

➡

アイテメイ トウロク　カ ナ
イケダ ▯

■ 文字を入れ直すには

①訂正したい文字を (◀▶) で選ぶ

アイテメイ トウロク　カ ナ
イシダ

➡

②キャッチ/消去 を押して文字を消す

アイテメイ トウロク　カ ナ
イダ

➡

③ダイヤルボタンで正しい文字を入れる（文字の種類を変えるときは、画質/カナ を押す）

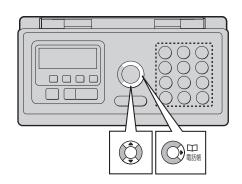
アイテメイ トウロク　カ ナ
イケダ

親機の電話帳で電話をかける

相手の方を選んで電話をかける

電話帳に登録すると、簡単に相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、頭文字をもとに記号→数字（0～9）→英字（A～Z）→50音順に並べられています。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 電話帳 **を押す**

2 で相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ
0312345678

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

3 受話器を取る

イケダ　サトシ
0312345678

●選んだ相手の方へ自動的に電話をかけます。

■ **途中でやめるときは**

相手の方を選んでいるときは 停止 を押します。
通話中は受話器を戻します。

■ **受話器を取ったあと、電話帳で電話をかけるときは（184や186などをつけて電話をかけるとき）**

① 受話器を取る
（184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは、このあと「184」や「186」をダイヤルします。親機が発信中のときは、②～⑤の操作を行うことができません。少し待ってから②～⑤の操作を行ってください。）

② 電話帳 を押し、 で相手の方を選ぶ

③ 決定 FAXスタート を押す

④ 相手の方とお話しする

⑤ 通話が終わったら受話器を戻す

4 相手の方とお話しする

5 通話が終わったら
受話器を戻す

■ **電話帳に登録した名前の頭文字から検索して電話をかけるときは**

名前の頭文字を入力して、相手の方を電話帳から選ぶこともできます。

① 電話帳 を押す

② 名前の頭文字を含む行のダイヤルボタンを押す
例：「イケダ」を検索する→ 1 ア を押す

※ ア～ワの各行ごとにしか検索できません。選んだ文字から近い名前の相手の方を表示します。

③ で相手の方を選ぶ

④ 受話器を取る

⑤ 相手の方とお話しする

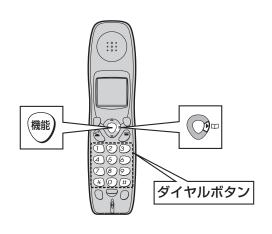
⑥ 通話が終わったら受話器を戻す

お知らせ

● 電話帳から自動的に電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。（「184」などダイヤルした番号では働きます。）

子機の電話帳に登録する

子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。
子機では、１台につき最大100人分の番号を登録できます。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を押す

2 名前を入れる（最大１２文字）

●名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順４に進みます。
名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。
（12ケタまで）

●内線／クリアボタンを２秒以上押すと、すべての文字が消えます。

3 機能 を押す

4 電話番号を入れる（最大１６ケタ）

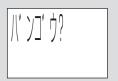
0312345678

●番号を入れまちがえたときは内線／クリアボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。

●内線／クリアボタンを２秒以上押すと、すべての番号が消えます。

5 機能 を押す

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

●続けて登録するときは手順１～５をくり返し行ってください。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **名前を入力するときは（☞59～60ページ）**

■ **子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは（☞63ページ）**

■ **ポーズについて**

（再ダイヤル）を押すと、約３秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。続けて入力することもできます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
ディスプレイには＿（アンダーバー）で表示されます。

子機の電話帳を修正する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

操作のしかた

1 で相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ

2 機能 を2回押す

0312345678

3 電話番号を入れ直す

0387654321

- 内線／クリアボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
- 内線／クリアボタンを2秒以上押し続けると、表示されている数字をすべて消すことができます。

4 機能 を押す

ノコリ　95

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

子機の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を1件ずつ消去することができます。通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

操作のしかた

1 で相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ

2 機能 を押し、で「ショウキョ」を選ぶ

ショウキョ

3 機能 を2回押す

- 「ピー」と鳴り消去が完了します。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

お知らせ

- 子機の電話帳にはあらかじめ、3人分の電話番号(「≫ジホウ　117」「≫テンキヨホウ　177」「≫バンゴウアンナイ　104」）が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。
- まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞105 ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞119ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
- 市外局番の前に「184」「186」「0033」「0088」「0077」などの番号を登録したり、番号の中に「⁎」「#」などを登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞105ページ）や着信鳴り分け（☞118～119ページ）が働かなくなります。
- 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号が名前として登録されます。
- 子機に登録した名前を修正することはできません。名前をまちがえて登録したときは、電話帳から消去したあと、もう一度登録し直してください。

子機で文字を入力する

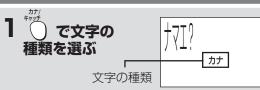
電話帳に名前を登録するときなど、文字を入力する場合は、ダイヤルボタンを使って入力します。
子機ではカナ／キャッチボタンで文字の種類を替えてダイヤルボタンで入力します。

文字入力一覧表

入力モード／入力ボタン	カタカナ［ｶﾅ］	英字［英］	数字［表示なし］
1 ア	アイウエオ ァィゥェォ	無効	1
2 カ ABC	カキクケコ	ABC abc	2
3 サ DEF	サシスセソ	DEF def	3
4 タ GHI	タチツテト ッ	GHI ghi	4
5 ナ JKL	ナニヌネノ	JKL jkl	5
6 ハ MNO	ハヒフヘホ	MNO mno	6
7 マ PQRS	マミムメモ	PQRS pqrs	7
8 ヤ TUV	ヤユヨ ャュョ	TUV tuv	8
9 ラ WXYZ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	9
0 ワ 記号	ワ ヲ ン ⊟ □（スペース）	⊟□（スペース）/ [ ] : , . ! ( ) & ? @	0
トーン ＊	無効		＊
＃	無効		＃
オンフック 発信/	濁点/半濁点	無効	
（カーソルボタン）	カーソル左右移動		
内線/クリア 保留	カーソル上の１文字を消去		
内線/クリア 保留 を2秒以上押す	全文字消去		
カナ/キャッチ	文字の種類の切り替え		

文字を入力する

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。
ディスプレイは電話帳に登録する（☞57ページ）ときのものです。

操作のしかた 通話ボタンを消灯した状態で操作します。

1 カナ/キャッチ で文字の種類を選ぶ

ナマエ？ カナ
文字の種類

●はじめは「カナ入力モード」になっています。
●カナ/キャッチ ボタンを押すごとに、右記のように切り替わります。
- [カナ] カタカナを表示します。
- [英] 英字を表示します。
- [表示なし] 数字を表示します。

2 1ア を2回押す

イ

●くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
の順に切り替わります。

3 2カABC を4回押す

イケ

●同じボタンを使って入力する文字（例：「ア」と「エ」、「ワ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは、１文字目を入力したあと、を押して、カーソルを移動してから２文字目を入力します。

4 4タGHI を押す

イケタ

5 オンフック を押す

イケダ

●濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは、文字を入れたあとに、オンフックボタンを押します。
●スペースを入れるときは、を押してカーソルを移動させてから、続きの文字を入力します。移動させた文字数の分だけスペースが入ります。

6 機能 を押す

●文字入力が終了します。

文字を修正する

■ **文字を消すには**

①訂正したい文字をで選ぶ
イケダ タ
→
② 内線/クリア 保留 を押す
イケダ

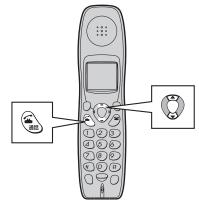
■ **文字を入れ直すには**

①訂正したい文字を で選ぶ
イシダ
→
② 内線/クリア 保留 を押して文字を消す
イダ
→
③ダイヤルボタンで正しい文字を選んで入れる
（文字の種類を替えるときは、カナ/キャッチ を押す）
イケダ

電話帳 留守番 電話
子機で文字を入力する

子機の電話帳で電話をかける

相手の方を選んで電話をかける

電話帳に登録すると、マルチファンクションキーの操作だけで相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。
数字（0→9）→英字（A→Z）→50音順

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ

●相手の方を選んだあと、を押すと電話番号を表示して確認することができます。

2 を押す

0312345678

●通話ボタンが点灯します。
●ダイヤルを始めます。

■ **途中でやめるときは**
を押します。

■ **17ケタ以上の番号をダイヤルするときは**
電話帳には、電話番号を最大16ケタまでしか登録できません。17ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます。（チェーンダイヤル機能）

① 手順1～2または「電話帳に登録した名前の頭文字から検索して電話をかけるときは」の手順①～⑤を行い、最初の番号をダイヤルする
② を押す
③ 手順1～2または「電話帳に登録した名前の頭文字から検索して電話をかけるときは」の手順②～⑤を行い、次のダイヤルをする

3 相手の方とお話しする

4 通話が終わったら充電器に戻す

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **電話帳に登録した名前の頭文字から検索して電話をかけるときは**
名前の頭文字を入力して、相手の方を電話帳から選ぶこともできます。
① を押す
② 相手の方の頭文字をダイヤルボタンで入力する
例：「イケダ」を検索する→ 1ア を2回押す
③ を押す
※ 入力した文字で始まる相手の方を表示します。入力した文字で始まる名前が登録されていないときは、最も近い次の頭文字で始まる名前を表示します。
④ で相手の方の番号を選ぶ
⑤ を押す
⑥ 相手の方とお話しする
⑦ 通話が終わったら充電器に戻す

お知らせ
● 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

親機と子機の間で電話帳を転送する

親機で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます。
親機から子機へ転送すると電話帳の内容が子機に追加されます。また、子機から親機へ転送すると電話帳の内容が親機に追加されます。

親機の電話帳を子機に転送する

操作のしかた

1 登録 を押し、 で「デンワチョウ」を選ぶ

<トウロク>
6：デ゛ンワチョウ

2 決定/FAXスタート を押し、 で「テンソウ」を選ぶ

<デ゛ンワチョウ>
1：トウロク 2：テンソウ

3 決定/FAXスタート を押す

すべて転送するときは

4 「ゼンケンテンソウ」を選ぶ

<テンソウ>
1：ゼ゛ンケンテンソウ

1件ずつ転送するときは

4 で「1ケンゴト　テンソウ」を選ぶ

<テンソウ>
2：1ケンゴ゛ト　テンソウ

↓

決定/FAXスタート を押し、 で転送したい相手の方を選ぶ

<テンソウ>
イケダ゛　サトシ

5 決定/FAXスタート を押し、 で転送先の子機を選ぶ

<テンソウ>
1：コキ1ヘテンソウ

6 決定/FAXスタート を押す

- 17ケタ以上の番号で登録しているデータは転送できません。
- 転送が完了すると、「ピー」と鳴って「カンリョウ　シマシタ」と表示されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

を押します。

■ **「テンソウデキマセン」や「テンソウデキナイデータガアリマス　ソウサヲツヅケマスカ」と表示されたときは**

この表示は親機に17ケタ以上の番号で登録しているときに表示されます。
すべて転送しているときは、決定/FAXスタート を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

お知らせ

- 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
  ただし、1か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
- 親機の電話帳を転送しても、子機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
- 転送を行っても、登録されていた電話帳の内容は消えません。

親機と子機の間で電話帳を転送する

子機の電話帳をすべて親機に転送する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 を押し、⇕ で「デンワチョウテンソウ」を選ぶ

デンワチョウテンソウ

2 機能 を押す

カンリョウシマシタ

●通話ボタンが点滅します。
●「ピー」と鳴ったあと、上の表示が約30秒間表示されます。
（切ボタンを押すと消えます。）

子機の電話帳を1件ずつ親機に転送する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ⇕ で転送したい相手の方を選んだあと、機能 を押す

バンゴウヘンコウ

2 ⇕ で「デンワチョウテンソウ」を選んだあと、機能 を押す

カンリョウシマシタ

●通話ボタンが点滅します。
●「ピー」と鳴ったあと、上の表示が約30秒間表示されます。
（切ボタンを押すと消えます。）

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

お知らせ

● 転送するときはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
● 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
● 転送する件数と登録できる件数を確認して親機や子機の電話帳が 100 件を超えないようにしてください。100 件を超えた電話帳の内容は転送されません。
● 工場出荷時にあらかじめ登録されている電話番号（天気予報、時報、番号案内）を転送することはできません。
● 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
ただし、１か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
● 子機の電話帳を転送しても、親機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
● 転送を行っても登録されていた電話帳の内容は消えません。

ホットラインダイヤルを利用する

子機ではよく電話をかける相手の方をホットラインダイヤル（1件）に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。（ホットラインダイヤル）
ホットラインダイヤルを登録するにはあらかじめ子機の電話帳に登録しておく必要があります。(☞57ページ)

子機のホットラインダイヤルに番号を登録する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で登録したい相手の方を電話帳から選ぶ

イケダ　サトシ

2 ホットラインダイヤル を押す

● 「ピー」と鳴り、選んだ相手の方の電話番号を登録します。

3 切 を押す

子機のホットラインダイヤルで電話をかける

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ホットラインダイヤル を押す

0312345678

●通話ボタンが点灯し、ディスプレイの マークが表示されて、自動的にダイヤルを始めます。

2 相手の方が電話に出たら
オンフック 発信 **を押して相手の方とお話しする**

3 通話が終わったら
切 **を押す**

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **ホットラインダイヤルの登録を消すときは**

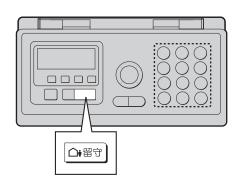
ホットラインダイヤル を2秒以上押します。

（「ピー」と鳴ったあと、ホットラインダイヤルの登録は自動的に解除されます。）

お知らせ

- ホットラインダイヤルボタンを誤って押すと、電話をかけたままになりますので注意してください。
- ホットラインダイヤルの登録は、それぞれの子機に1つです。親機には登録できません。
- 通話ボタンを押したあと、ホットラインダイヤルボタンを押しても、電話をかけることができます。

留守に設定する

外出中に相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。
相手の方の用件は、１件につき最大約３分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大約12分間または、30件までです。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 留守 **を押す**

コテイ オウトウ メッセージ

●固定応答メッセージが流れます。
●録音できる残り時間が５分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

固定応答メッセージ
「ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」

■ **自分で録音した応答メッセージ（オリジナルメッセージ）にするときは**

① あらかじめ応答メッセージを録音する（☞71ページ）
② 留守 を押す
③ 固定応答メッセージが流れている間に # を押す

■ **オリジナルメッセージを選んだときは**

いったん留守設定したときに、オリジナルメッセージを選んでおくと、次に留守設定したときも、オリジナルメッセージになります。

■ **オリジナルメッセージから固定メッセージにするときは**

① 留守 を押す
② オリジナルメッセージが流れている間に ＊ を押す

■ **固定応答メッセージが流れたあと「ピー」と鳴るまでの時間を変えるときは**

はじめは２秒に設定されています。１秒または４秒に変更することができます。
（発信音待ち時間 ☞153ページ）

お知らせ

- オリジナルメッセージにしたときでも、ファクス受信できなくなったときや録音ができなくなったときは、自動的に固定メッセージに切り替わります。（☞66ページ）
- 録音時間が残り１分以下、または残りの件数が３件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください。（☞70ページ）
- ファクスのメモリー受信データがあると、録音できる時間が少なくなります。
- 留守設定中にファクスをメモリー受信すると、ディスプレイに「ジュシンデータガアリマス」と表示されます。（☞88ページ）
- 留守設定中は、他の受信モード（FAX優先／FAX専用）は働きません。
  留守設定が優先されます。

留守に設定する

固定応答メッセージの内容は変わります。

ファクス受信できるが、録音できないとき	「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」
録音はできるが、ファクス受信できないとき（インクリボンがないときなど）	「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
ファクス受信も録音もできないとき	呼出音が鳴り続けて、応答しません。

■ **応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）**

応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を設定します。

① 登録 を押す

② ◎ で「オト　カンレン　セッテイ」を選び、決定/FAXスタート を押す

③ ◎ で「オヤキ　ヨビダシオン」を選び、決定/FAXスタート を押す

④ ◎ で「ルスジ　コールカイスウ」を選び、決定/FAXスタート を押す

⑤ ダイヤルボタンでコール回数を入力する（01回～25回）

⑥ 決定/FAXスタート を押す

⑦ 停止 を押す

■ **相手の方が自動送信でファクスを送っているときは**

「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります。（ファクス受信可能な場合のみ）

■ **留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは（お声拝聴）（☞153ページ）**

留守録音中に相手の方の録音中の声と応答メッセージがスピーカーから聞こえます。

① 登録 を押す

② # を4回押す

③ 決定/FAXスタート を押す

④「ルスロク　モード」を選び、決定/FAXスタート を押す

⑤ ◎ で「オコエ　ハイチョウ」を選び、決定/FAXスタート を押す

⑥ ◎ で「アリ」または「ナシ」を選び、決定/FAXスタート を押す

⑦ 停止 を押す

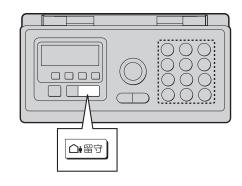
お知らせ

- 応答メッセージが流れている間や録音している間に受話器を取ると、通話できます。（親機、子機とも）
- メモリー容量がないとき（メモリーがいっぱいのとき）は、ファクスをメモリー受信することや録音することができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。また、メモリーがいっぱいで記録紙やインクリボンがないときは、呼出音が鳴り続けて自動応答しません。もとの応答メッセージに戻すときは、メモリー受信データをプリントするか（☞88ページ）、不要な録音を消去してください。（☞70ページ）
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー受信データがあると録音できる時間が少なくなります。

留守設定を解除する

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 **を押す**

```
8月27日 4:45PM 1
ミサイセイ ロクオンガ アリマス
```

録音されている件数が表示されています。

```
< 8月27日 4:01PM>
 1ケンメ サイセイチュウ
```

●留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に1回再生します。
●再生中は「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」ことができます。
●録音内容を1件再生するごとに、録音された時刻を音声でお知らせします。

■ **ディスプレイが点滅しているときは**

● 留守に設定中にディスプレイが点滅しているときは、新しく入った録音があります。また、メモ録音や通話録音が入ったときも点滅します。
● 留守を解除したあとでも、「ミサイセイ　ロクオンガアリマス」と表示されているときは、まだ再生していない（未再生）録音（メモ録音や通話録音、留守録）があります。
0 を押して約3秒以上再生すると再生済みになります。
● まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を聞く（再生する）」（☞68～69ページ）の操作をします。

留守設定以降の再生について

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

（3件目と4件目の間：留守設定／6件目の後：留守設定解除）

留守設定以後の録音を再生します。留守設定以後の録音がない場合は自動再生はしません。

■ **留守設定を解除せずに留守録を聞くには（☞68ページ）**

■ **再生中の操作について（☞68ページ）**

■ **親機のディスプレイに「ジュシンデータガアリマス」と表示しているときは**

送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データをプリントすると「ジュシンデータガアリマス」の表示が消えます。（☞88ページ）

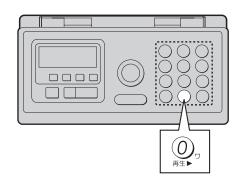
■ **再生を途中でやめるときは**

停止 を押します。

お知らせ

● 日付は録音されていません。再生中は、親機のディスプレイに日付と時刻が表示されます。
● 曜日は親機のディスプレイに表示されません。また録音もされません。
● 親機の時刻設定がまちがっていると、まちがった時刻が記録されます。（☞22、23ページ）
● 一度聞いた不要な用件は消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
● 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。

録音されている内容を聞く（再生する）

親機に録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を再生するときの操作です。

親機で録音内容を再生する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 0ワ（再生▶）**を押す**

```
< 8月27日 4:45PM>
 1ケンメ サイセイ中
```

●「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。
（約３秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定（4件目の位置）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ **再生を途中でやめるときは**
停止 を押します。

再生中は次のような操作ができます

次の録音にとばすときは

再生中に、#（▶▶|）を押す

早聞きや遅聞きするときは

再生中に、0ワ（再生▶）を押す（速くなる）
もう一度、0ワ（再生▶）を押す（遅くなる）
もう一度、0ワ（再生▶）を押す（もとに戻る）

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、＊（トーン）を押す

１つ前の録音に戻すときは

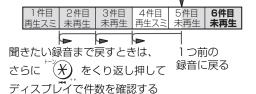
再生中に、＊（トーン）を２回続けて押す

今聞いている録音の１件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して ＊（トーン） を押します。（１回押すごとに１件ずつ）

３秒以上再生したあと、ボタンを２回続けて押すと

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	**未再生**

聞きたい録音まで戻すときは、さらに ＊（トーン） をくり返し押してディスプレイで件数を確認する

１つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**
再生が止まります。このあと受話器を取ると、通話できます。

録音されている内容を聞く（再生する）

子機で録音内容を再生する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 **を2回押す**

〈サイセイチュウ〉

● 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。
（約3秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定（4件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は1件目から再生）

■ **再生を途中でやめるときは**

切 を押します。

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、6 を押す

早聞きするときは

再生中に、9 を押す

もとに戻すときは、もう一度、9 を押す

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、5 を押す

1つ前の録音に戻すときは

再生中に、5 を2回続けて押す

今聞いている録音の1件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して 5 を押します。（1回押すごとに1件ずつ）

3秒以上再生したあと、5 ボタンを2回続けて押すと

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに 5 をくり返し押す

1つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**

再生が止まってから呼出音が聞こえます。このあと 通話 を押すと通話できます。

お知らせ

● 一度聞いた不要な用件は消去してください。(☞70ページ) 録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
● 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
● 親機の日付と時刻の設定（☞22、23ページ）がまちがっていると、まちがった日付と時刻が記録されます。

録音されている内容を消去する

一般録音（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を消去します。

録音を1件消去する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 消したい録音を再生中に キャッチ/消去 **を2回押す**

1ケンメ ショウキョ シマシタ

録音をすべて消去する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 キャッチ/消去 **を押す**

イッパ゜ン ロクオン ショウキョ

2 決定/FAXスタート **を押す**

ショウキョ シマシタ

■ **親機の録音メモリーの残量を確認するときは（FAX/録音メモリー残量表示）**

① 登録 を押す

②「ショウサイ　セッテイ」を選び、決定/FAXスタート を押す

③「メモリー　シヨウリョウ」を選び、決定/FAXスタート を押す

（例）

メモリー シヨウリョウ 10%

④ 停止 を押す（待受画面に戻ります）

オリジナル応答メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを1種類録音できます（オリジナルメッセージ）。録音できる時間は他の録音と合わせて最大約12分です。

操作のしかた

1 登録 を押し、◎で「オト　カンレン　セッテイ」を選ぶ

<トウロク>
2：オト　カンレン　セッテイ

2 決定/FAXスタート を押し、◎で「オウトウメッセージ」を選ぶ

<オト　カンレン　セッテイ>
3：オウトウメッセージ

3 決定/FAXスタート を押し、「ロクオン」を選ぶ

<オウトウメッセージ　>
1：ロクオン

4 決定/FAXスタート を押す

オリジナル　ロクオン

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **応答メッセージの内容を変えるときは**

録音した内容を消してから、もう一度録音します。

■ **応答メッセージの内容を聞くときは**

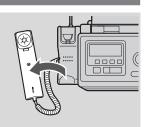
操作のしかた の手順3で「サイセイ」を選び、決定/FAXスタート を押します。

オリジナル応答メッセージが録音されているときは、オリジナル応答メッセージが再生されます。

オリジナル応答メッセージの再生中に ＊(トーン) を押すと、固定応答メッセージを再生することができます。固定応答メッセージの再生中に ＃ を押すと、オリジナル応答メッセージを再生することができます。

■ **応答メッセージを消すときは**

操作のしかた の手順3で「ショウキョ」を選び、決定/FAXスタート を2回押します。

5 受話器を取る

6 決定/FAXスタート を押し、受話器で応答メッセージを話す

応答メッセージの例

「はい、○○です。ただ今留守にしておりますので、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話しください。ファクスを送られるときは、スタートボタンを押してください。」

7 録音が終わったら 停止 を押し、受話器を戻す

●録音したメッセージを再生します。

■ **自分で録音した応答メッセージ（オリジナル応答メッセージ）にするときは**

① 留守 を押す

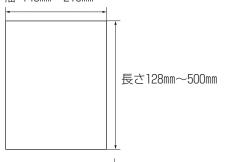
② 固定応答メッセージが流れている間に ＃ を押す

お知らせ

● 応答メッセージを設定していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わります。（☞66ページ）記録紙やインクリボンをセットして受信内容をプリントしたあと、または用件を消去するとオリジナルメッセージに戻ります。

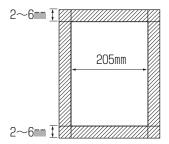
コピー／ファクスをする前に

使用できる原稿

■ セットできる原稿のサイズ

- ●セットできる記録紙のサイズがA4サイズなので、A4サイズの原稿（210mm × 297mm）までしかプリントできません。
  また、A4サイズの長さを超える原稿をA4サイズに分割してコピーすることができます。
  （分割コピー ☞155ページ）
  〈厚さの目安〉
  新聞紙の厚さは約0.05〜0.06mmです。
  上質紙の厚さは約0.10mmです。
  官製はがきの厚さは約0.23mmです。

■ 原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

- ●最大読み取り幅　205mm
- ●最大読み取り長
  送信原稿長（128〜500mm）から上下とも2〜6mmを引いた長さ

■ 一度に2枚以上セットできない原稿

- ●長さ297mmを超える原稿
- ●厚さ0.12mm（90kg用紙……四六判（788 × 1091mm）の用紙1000枚の重量）を超える原稿
- ●厚さや大きさの異なる原稿

■ そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。

- ●サイズが規定より小さすぎるもの（例：写真など）
- ●フィルム状のもの
- ●紙の厚さが薄すぎるもの
- ●しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
- ●裏カーボン紙、感熱紙など
- ●コーティングされているもの

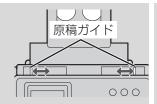
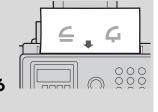
お知らせ

- ● クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
- ● 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）の汚れの原因になります。（汚れたときは ☞125〜126ページ）
- ● 原稿は無理に引き出さないでください。無理に引っ張ると読み取り面やインクリボンに傷がつきます。「原稿がつまったときは」を参照して取り出してください。（☞127ページ）

原稿をセットする

コピーや送信する面をウラ向きにして、原稿挿入口に入れてください。（一度に10枚まで）

操作のしかた

1 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

2 原稿はウラ向きに！コピーや送信する面を下にしてセットする（一度に10枚まで）

●原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。

■ **11枚以上の原稿があるとき**
10枚の原稿をセットしたあと、コピーやファクス中に原稿が送り出されて減った枚数分を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

原稿を取り出す（原稿排出）

操作のしかた

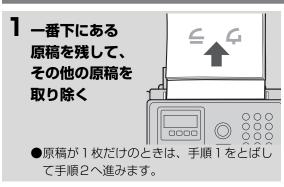
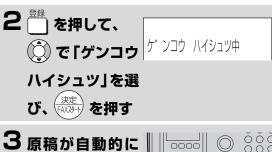
記録紙をセットしているときは記録紙を取り出してから操作します。

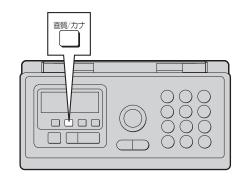
1 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く

●原稿が１枚だけのときは、手順１をとばして手順２へ進みます。

■ **原稿が排出されないときは（☞127ページ）**

2 登録 を押して、◎ で「ゲンコウハイシュツ」を選び、決定FAXスタート を押す

3 原稿が自動的に排出される

コピー／ファクスするときの画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。

操作のしかた 原稿をセットした状態で操作します。

1 画質/カナ を押すたびに切り替わる

フツウジ

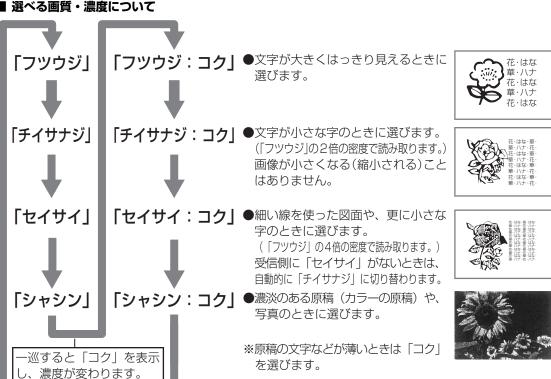
■ **選べる画質・濃度について**

●文字が大きくはっきり見えるときに選びます。

●文字が小さな字のときに選びます。（「フツウジ」の2倍の密度で読み取ります。）画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。

●細い線を使った図面や、更に小さな字のときに選びます。（「フツウジ」の4倍の密度で読み取ります。）受信側に「セイサイ」がないときは、自動的に「チイサナジ」に切り替わります。

●濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。

※原稿の文字などが薄いときは「コク」を選びます。

お知らせ

- 「フツウジ」に比べると、「チイサナジ」「セイサイ」「シャシン」で送るとファクスの送信時間が長くかかります。
- コピーをするときは、「フツウジ」「セイサイ」を選んでも、「チイサナジ」でコピーされます。また「フツウジ　コク」「セイサイ　コク」を選んでも、「チイサナジ　コク」でコピーされます。
- ファクスを送信する場合に画質／カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」が選ばれます。
- ファクスやコピー中に画質選択を切り替えると、次の原稿から画質が変わります。
- 「チイサナジ」でカラーの原稿や写真をコピーすると、配色によって部分的に写らなかったり、黒く写ることがあります。

コピーする

コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

■ **法律で禁止されているもの**

● 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。
（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）

● 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）

● 未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。（郵便切手類模造等取締法）

● 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。
（印紙等模造取締法）

■ **コピー（複製）する場合に注意を要するもの**

● 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

● 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■ **著作権に注意するもの**

● 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

等倍でコピーする

一度に10枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●コピーする面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）

●画質を選ぶときは、画質／カナボタンを押します。画質／カナボタンを押さなかったときは、自動的に「チイサナジ」でコピーします。

■ **コピーの途中で画質を切り替えるときは**

コピー中に［画質/カナ］を押すと次のページから画質が切り替わります。（コピー途中の原稿の画質を変えることはできません。）

■ **コピー終了時の音声を切り替えるときは**
（☞156ページ）

■ **拡大／縮小／複数枚コピーをするときは**
（☞76ページ）

■ **原稿がつまったときは****（☞127ページ）**

2 ［コピー/印刷］**を押す**

```
コピ゜ー中 （A4） P. 1
```

●コピーが始まります。

■ **記録紙がつまったときは****（☞128ページ）**

■ **途中でやめるときは**

［停止］を押します。
（コピー中の記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

お知らせ

● 等倍でコピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。

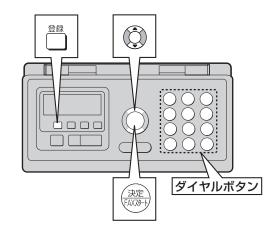
● 通話中にコピーを始めることはできません。

● コピー中に電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。また、コピー中は親機のオンフックボタンを押しても、動作しません。

● コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。

● 停止ボタンを押すと選んだ画質が取り消されます。

拡大／縮小／複数枚（マルチ）コピーする

拡大／縮小コピーや同じ原稿の複数枚コピー（マルチコピー）などができます。

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●コピーする面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
●画質を選ぶときは、画質／カナボタンを押します。画質／カナボタンを押さなかったときは、自動的に「チイサナジ」でコピーします。

2 登録 **を押し、**
◎ **で「コピーセッテイ」を選び、**
決定/FAXスタート **を押す**

<コピーセッテイ>
1:カクダイ　140%

3 ◎ **でコピーの種類を選び、**
決定/FAXスタート **を押す**

●コピーが始まります。
●コピー終了後、等倍に戻ります。

■ **複数枚コピーのときにコピー枚数をまちがえたときは**

キャッチ/消去 を押して、もう一度枚数を入力し直します。

■ **等倍コピーをするときは（☞75ページ）**

■ **原稿がつまったときは（☞127ページ）**

■ **記録紙がつまったときは（☞128ページ）**

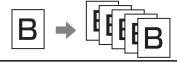
手順3のときに……

「カクダイ 140%」を選んだとき
140%に拡大してコピーします。

○の位置を基準に拡大します。

「シュクショウ 80%」を選んだとき
80%に縮小してコピーします。

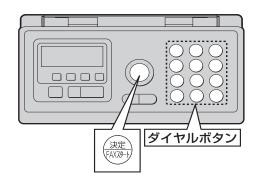
○の位置を基準に縮小します。

「マルチコピー」を選んだとき
複数枚のコピーをします。
1ア ～ 5ナ を押して枚数を入力し、
決定/FAXスタート を押します。（最大5枚）

お知らせ

● メモリー受信したデータがあるときは、拡大／縮小／マルチコピーはできません。
● 拡大／縮小／マルチコピーでは、画像をいったんメモリーに読み込みます。メモリー容量が少なくなってきたときは（メモリー残量表示 ☞70ページ）通常の等倍コピーでコピーしてください。
● コピー中に電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。また、コピー中は親機のオンフックボタンを押しても動作しません。
● コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。

ファクスを送る

親機でお話ししてから ファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話ししてから
ファクスを送るときの操作です。
原稿は一度に10枚までセットできます。

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
●画質を選ぶときは、画質／カナボタンを押します。画質／カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

2 受話器を取る

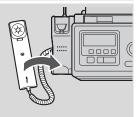
3 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

0312345678

●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
●押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）各ボタンの音声については、90ページの音声一覧をご覧ください。

4 相手の方が出たら
ファクスを送る
ことを伝えて
 を押す

●相手の方が電話を受けたらお話しすることができます。
●相手の方のファクシミリが留守番電話のときはその案内に従って操作します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。
（おまかせ送信）
※お使いの環境によってはおまかせ送信ができないことがあります。このときは「ピー」という音が聞こえたら決定／FAXスタートボタンを押してください。
●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。）つまった原稿は、127ページの手順で取り除いてください。

5 受話器を戻す

●受話器を戻しても回線は切れません。
●ファクス送信が終わると終了音が聞こえます。

■ **読上げボイスダイヤルの音声について（☞90ページ）**
■ **相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは（☞79ページ）**

■ **送信前に途中でやめるときは**

受話器を戻します。

■ **11枚以上の原稿があるときは（☞73ページ）**

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞140ページ）**

■ **セットした原稿を取り出すときは（☞73ページ）**

■ **子機の操作でファクスを送るときは（☞81ページ）**

■ **原稿がつまったときは（☞127ページ）**

■ **海外へファクスを送る**

海外へファクスを送る場合、ファクス番号を以下のようにダイヤルします。
（例）アメリカ（1-212-123-4567）へ送る場合

■ **ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは**

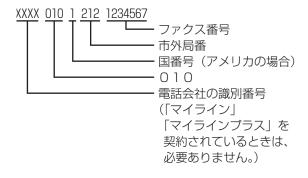
「終了音を設定する」（☞156ページ）の操作で切り替えます。
（お買いあげ時は「オンセイ」になっています。）

■ **おまかせ送信とは**

相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。
※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**

「親機のスピーカー音量を変える」（☞32ページ）の操作をしてください。

■ **読上げボイスダイヤル機能を設定／解除するときは（☞90ページ）**

お知らせ

- 海外へファクスを送るときは、国や地域によって回線状態がよくないところがあり、正常に受信されない場合があります。
- 国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。

親機でお話ししないでファクスを送る

相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ることができます。

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

●送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
●画質を選ぶときは、画質／カナボタンを押します。画質／カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

2 オンフック **を押す**

オンフック ダ゛イヤルモード゛

3 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

0312345678

●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
●押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）

4 電話がつながったら 決定 FAXスタート **を押す**

●送信が始まります。
●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。）
●ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。

■ **送信前に途中でやめるときは**

オンフック を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞127ページ）**

■ **うまく送信できないときは**

相手の方とお話して、受信操作をしてもらってから 決定 FAXスタート を押します。（☞77ページ）

■ **読上げボイスダイヤルの音声について（☞90ページ）**

お知らせ

● 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「オウトウ　ガ　アリマセン」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞77ページ）の方法で送信してください。
● ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）
● 相手の方が自動受信（音声応答なしの場合）に設定されていると、こちら側には「ピー」という音が聞こえます。
● 読上げボイスダイヤル機能の発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声をやめ、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。

電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

親機の電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

電話帳にファクス番号を登録しておくと、電話帳から相手の方を選んでファクスを送ることができます。
親機と子機の電話帳にはそれぞれ100人分の番号を登録できます。(☞51〜52、57ページ)
相手の方がお話し中など、もう一度電話をかけ直してファクスを送るときは、再ダイヤルボタンを使って簡単にファクスを送ることができます。

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。(一度に10 枚まで)
●画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

電話帳でファクスを送るとき

2 電話帳 **を押し、** ◎ **で相手の方を選び、** オンフック **を押す**

イケダ　サトシ
0312345678

●ディスプレイで相手の方を確かめます。
●オンフックボタンの代わりに受話器を取っても発信します。

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 オンフック **を押し、** 再ダイヤル **を押す**

0612345678

●ディスプレイで相手の方の名前(番号)を確認します。
●オンフックボタンの代わりに受話器を取っても発信します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **「通信エラーがありました」と聞こえたら(☞140ページ)**

3 電話がつながったら
決定/FAXスタート **を押す**

●相手の方が受信操作をすると、自動的に送信を始めます。
●受話器を取ってダイヤルしたときは、相手の方にファクスを送ることを伝えてから、決定/FAXスタートボタンを押して、受話器を戻します。
●ファクス送信が終わると終了音が聞こえます。

■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは(☞43ページ)**

■ **原稿がつまったときは(☞127ページ)**

■ **電話帳に登録した名前の頭文字から検索してファクスを送るときは**

名前の頭文字を入力して、相手の方を電話帳から選ぶこともできます。

① 電話帳 を押す
② 名前の頭文字を含む行のダイヤルボタンを押す
例:「イケダ」を検索する→ 1ア を押す
※ ア〜ワの各行ごとにしか検索できません。選んだ文字から近い名前の相手の方を表示します。
③ ◎ で相手の方を選ぶ
④ オンフック を押す
⑤ 電話がつながったら 決定/FAXスタート を押す

お知らせ

● ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号(発信元番号)ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。(必要に応じて相手の方に確認してください。)
● 電話帳や再ダイヤルから自動的にファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

子機の操作でファクスを送る

子機の操作（ダイヤル／電話帳／再ダイヤル）でファクスを送る

親機にセットした原稿を、子機でダイヤルしてファクスを送ることができます。

操作のしかた

1 親機

原稿ガイドを合わせ

原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）

●画質を選ぶときは、画質／カナボタンを押します。画質／カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

ダイヤルしてファクスを送るとき

2 子機

（通話）を押して、相手の方の番号をダイヤルする

電話帳でファクスを送るとき

2 子機

で相手の方を選んだあと、（通話）を押す

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 子機

を押したあと、で相手の方を選び、（通話）を押す

3 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

（機能）を押す

●機能ボタンを押すと親機がファクスを送り始めます。

●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。

●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信）

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

4 子機

充電器に戻す

■ **途中でやめるときは**

手順３を行うまでの間に、（切）を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞127ページ）**

■ **子機の再ダイヤルの記憶を消去するときは（☞44ページ）**

■ **おまかせ送信とは（☞78ページ）**

■ **電話帳に登録した名前の頭文字から検索してファクスを送るときは**

名前の頭文字を入力して、相手の方を電話帳から選ぶこともできます。

① 親機で原稿ガイドを合わせ、原稿をウラ向きにセットする

② を押す

③ 相手の方の頭文字をダイヤルボタンで入力する

例：「イケダ」を検索する→（1ア）を２回押す

④ を押す

※ 入力した文字で始まる相手の方を表示します。入力した文字で始まる名前が登録されていないときは、最も近い次の頭文字で始まる名前を表示します。

⑤ で相手の方を選ぶ

⑥（通話）を押す

⑦ 相手の方が出たら、ファクスを送ることを伝えて（機能）を押す

⑧ 充電器に戻す

お知らせ

● 親機や他の子機でかけた電話番号を子機で再ダイヤルすることはできません。

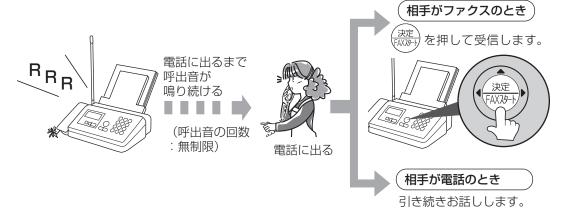
● 子機で再ダイヤルできるのは、24 ケタまでです。

ファクスの受けかた

ファクスの受けかたは、「在宅モード」と「留守モード」の2つの種類があります。

在宅モード（家にいるとき）

■ **在宅モード時の操作（☞84ページ）**

●お買いあげ時、呼出音の回数は「ムセイゲン」になっています。

電話に出ないで、ファクスを受けることもできます。
呼出音が一定の回数（1～25回）鳴ったあと、ファクス受信に切り替えます。
（☞86～87ページ）

相手の方が「ポー・ポー ...」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。
決定／ FAX スタートボタンを押して受信してください。

また、ファクスを受信することが多い場合、以下の受信モードで使用されると便利です。

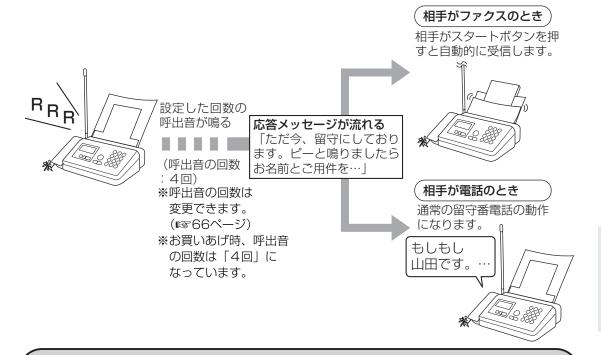
FAX優先……電話かファクス送信かを判断し、自動的に電話／ファクス受信に切り替えます。（☞158ページ）

FAX専用……ファクス受信のみ行います。正常にファクス受信できない場合のみ呼出音を鳴らしてお知らせします。（☞158ページ）

お知らせ

- 呼出音の回数を1回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。また、応答メッセージを流さないように設定することはできません。（応答メッセージが流れている間に受話器を取ると話すことができます。）
- お買いあげ時、呼出音の回数は「無制限」になっていますので、ご不在のときは自動でFAXを受信することはできません。
  ご不在のときは「留守モード」にしておくことをお勧めします。

留守モード（留守にするとき）

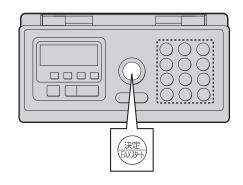
■ 留守モード時の動作（☞65～66ページ）

送られてきた原稿は、プリントするとき、全体を約93%に縮小します。

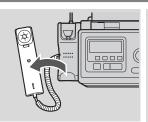
ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、全体を約93%に縮小します。縮小しないでプリントしたいときは、**受信縮小率**の設定（☞154ページ）を「トウバイ」にします。

※ただし、「トウバイ」に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に１対１にならない場合があります。

電話に出てからファクスを受ける

親機で電話に出てから ファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えます。

操作のしかた 原稿をセットしていない状態で操作します。

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

2 ファクスに切り替えることを相手の方に伝えて
を押す

●受信が始まります。
●受話器を取るだけで自動的にファクスに切り替わることもあります。（おまかせ受信）

3 受話器を戻す

●ファクス受信が終わると終了音が聞こえます。

■ **おまかせ受信について**

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。
（「おまかせ受信」を解除するには ☞153ページ）

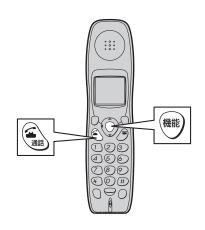
※こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信が働きません。

※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら 決定/FAXスタート （子機使用中のときは 機能 ）を押してください。

※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

■ **呼出音が一定の回数（1～25回）鳴ったあと、ファクス受信に切り替えるときは** **（☞ 86～87ページ）**

在宅モード時のコール回数を設定すると、設定したコール回数が鳴り「ポー・ポー…」という音を検出すると、ファクス受信に切り替わります。在宅モードでファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたい場合は、「ザイタクジ　コールスウ」を６回以下に設定してください。
７回以上に設定されると相手の方が自動送信をされたときなどは、ファクスに切り替わりません。
また、相手の方が手動送信のときは、相手の方が送信の操作（スタートボタンを押す）をしたときだけファクス受信できます。

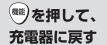
子機で電話に出てから ファクスを受ける

操作のしかた 親機に原稿をセットしていない状態で操作します。

1 呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

2 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて

を押して、充電器に戻す

●親機に原稿がセットされているときに機能ボタンを押すと送信になります。

■ **おまかせ受信について**

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると「ファクスを受信します。」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。
（「おまかせ受信」を解除するには ☞153ページ）

※こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信が働きません。

※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら (機能) を押してください。

お知らせ

● キャッチホンをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。

● コピー中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。

● 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたとき、電話を受けても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度確認してから、親機の決定／FAXスタートボタンまたは、子機の機能ボタンを押してください。

電話に出ないで自動的にファクスを受ける

親機で自動的にファクスを受ける

呼出音の回数を設定（☞87ページ）すると、一定の回数の呼出音が鳴ったあと、自動的にファクス受信に切り替えることができます。

相手側

電話をかけている
（電話をかけたあと、ファクスを送ろうとしている）

プルル（1回目）
：
プルル（６回目）

固定応答メッセージが流れる

「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直しください。」

相手の方がスタートボタンを押す

こちら側（呼出音の回数を６回に設定しているとき）

呼出音が鳴る
プルル…

呼出音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。
通話したあと、ファクスを受信するには、決定/FAXスタートを押してから受話器を戻してください。

プルル（1回目）
：
プルル（６回目）

６回鳴っても電話に出ないとファクスから自動的に
固定応答メッセージが流れる
「ただ今近くに…

応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

「ポー・ポー…」という音を検出すると
ファクスを受信します

お知らせ

- 呼出音の回数を７回以上に設定すると、相手の方が自動送信や、ダイヤルしたあと、すぐにスタートボタンを押されたときはファクスに切り替わらないことがあります。在宅モードでファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、「自動的にファクスを受けるときの呼出音の回数を変える」の操作で、呼出音の回数を６回以下に設定してください。（☞87ページ）
- 留守モードでお使いのときは動作が異なります。（☞65〜66ページ）
- 相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。このようなときは受話器を取ってから、決定／FAXスタートボタンを押して受信してください。
- 電話に出ないでファクスを受ける機能として「FAX優先で受信する」「FAXのみ受信する」などの設定があります。（☞158ページ）

自動的にファクスを受けるときの呼出音の回数を変える

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 [登録] **を押し、**[↕] **で「オト　カンレン セッテイ」を選ぶ**

<トウロク>
2：オト　カンレン　セッテイ

2 [決定／FAXスタート] **を押し、**[↕] **で「オヤキ ヨビダシオン」を選ぶ**

<オト　カンレン　セッテイ>
2：オヤキ　ヨビ゛ダ゛シオン

3 [決定／FAXスタート] **を押し、**[↕] **で「ザイタクジ　コールスウ」を選ぶ**

<オヤキ　ヨビ゛ダ゛シオン>
2：ザ゛イタクジ゛　コールスウ

4 [決定／FAXスタート] **を押し、「カイスウ センタク」を選ぶ**

<ザ゛イタクジ゛　コールスウ>
1：カイスウ　センタク

● 「ムセイゲン　ヨビダシ」の設定にするときは、[↕] で「ムセイゲン　ヨビダシ」を選んで、決定／FAXスタートボタンを押します。

5 [決定／FAXスタート] **を押す**

<カイスウ　センタク>
01-25　ヲ　ニュウリョク

6 **呼出音の回数を入力する（01～25回）**

（例）06回　[0ワ] [6ハ]

<カイスウ　センタク>
ザ゛イタクジ゛　コール=06カイ

7 [決定／FAXスタート] **を押す**

06　カイ　ニ　シマシタ

8 [停止] **を押す**

■ **「ムセイゲン　ヨビダシ」になっているときは**
呼出音が鳴り続けて、応答しません。
（お買いあげ時は「ムセイゲン　ヨビダシ」になっています。）

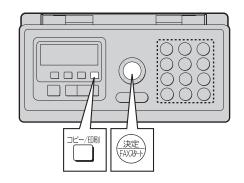
■ **インクリボンや受信メモリーがなくなって受信できないときは**
呼出音が鳴り続けて、応答しません。

■ **呼出音の種類を変えるときは**
（☞30ページ）

メモリー受信したファクスをプリントする

メモリー受信した内容をプリントするときの操作です。
メモリーに受信したデータが保存されているときは、下のようにディスプレイ表示されます。

8月27日 9：00AM
ジ゛ュシンデ゛ータガ゛ アリマス

メモリー受信とは
送られてきたファクスを記録紙にプリントせずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

操作のしかた

1 **を押す**

メモリーマイスウ　1マイ
キロクシヲセットシテ（ケッテイ）

■ **途中でやめるときは**

 停止 を押します。

■ **プリント中にインクリボンがなくなったときは**
受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換（☞129〜131ページ）してください。

■ **メモリー受信枚数・受信件数について**
A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「フツウジ」で約22枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります。（最大でも約60枚または30件までです。）
受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合があります。

■ **メモリーがいっぱいになったときは**
受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（「メモリーオーバー」と表示されます）。メモリー受信した内容をプリントしたり、不要な録音メッセージを消去してください。

2 記録紙やインクリボンをセットして
決定 FAXスタート **を押す**

●すべての受信データのプリントを開始します。プリントが終わると受信データが消えます。

お知らせ

● プリント中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。
● 受信プリント（☞154ページ）の設定を「シュドウ」にしていると、ファクスを受信するたびに、受信内容はメモリーに保存されます。このときも上記の操作でプリントしてください。
●「メモリー受信」の設定（☞92ページ）を「シナイ」にすると、
・受信したファクス内容によっては、記録紙の途中で分断されてプリントすることがあります。
・通信速度がメモリー受信のときよりも遅くなることがあります。